

## 実務ワークショップ報告

### 平成 28 年度実務ワークショップ 「カルチャーコレクションとコンプライアンス」

日本微生物資源学会実務担当小委員会

坂本光央

(国立研究開発法人理化学研究所バイオリソースセンター (JCM))

伴さやか

(独立行政法人製品評価技術基盤機構・NBRC)

林 将大

(岐阜大学生命科学総合研究支援センター嫌気性菌研究分野)

森 史

(国立研究開発法人国立環境研究所微生物系統保存施設 (NIES))

永井利郎

(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構遺伝資源センター (MAFF))

カルチャーコレクションは微生物株の収集・保存・品質管理・提供を行うにあたり、様々な法令・基準などを遵守しながら事業を実施している（しなければならない）。一方で、各研究者が法律にかかる微生物株を外国から輸入あるいは輸出する場合などは、「個人」としてそれなりの「手続き」をしなければならない。しかし、実際にはどのような「手続き」をしなければならないのか理解できていない方も多いのではないだろうか。

そこで今回の実務ワークショップでは、3名の先生に法令にまつわる問題点やカルチャーコレクションの対応などについて紹介して頂いた。外国産微生物株を日本に輸入する場合の植物防疫法上の留意点や感染症法下での病原細菌の菌株分譲と輸送の課題、そして実際に微生物株を多く取り扱う現場であるカルチャーコレクションにおける対応（問題点）などが少しでも理解できる良い機会となったのではないだろうか。なお詳細は演者の先生方がまとめられた後述の解説をご覧ください。

末筆ではあるが、最後に快くご講演を引き受けてくださった先生方、そして本ワークショップに参加された皆様に厚く御礼申し上げたい。

注：実務ワークショップはカルチャーコレクションの実務担当者へ情報提供などを行うことを目的として企画され、文書管理・情報管理・品質管理・コンプライアンスなどもテーマとして取り扱っています。



左より、高島昌子先生、小野里浩二先生、江崎孝行先生

#### 概要

大会名：日本微生物資源学会第23回大会

日 時：2016年7月5日（火）9：30-11：00

場 所：千葉大学けやき会館3階レセプションホール

9：30-10：00 演題1：外国産微生物株の分譲・利用における植物防疫法上の留意点

小野里浩二（農林水産省横浜植物防疫所）

10：00-10：30 演題2：感染症法下で病原細菌の系統保存を維持する際の問題と課題

江崎孝行（岐阜大学微生物遺伝資源保存センター）

10：30-11：00 演題3：提供の立場から

高島昌子（理研BRC-JCM）

（敬称略）